



平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 THEグローバル社
コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 秀和
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 岡田 一男

TEL 03-3345-6111

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第1四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	2,414	△58.4	△268	—	△332	—	△222	—
27年6月期第1四半期	5,810	△21.9	△143	—	△221	—	△152	—

(注)包括利益 28年6月期第1四半期 △224百万円 (—%) 27年6月期第1四半期 △146百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年6月期第1四半期	△16.89	—
27年6月期第1四半期	△11.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	円銭
28年6月期第1四半期	21,082	—	5,561	—	26.0	—	415.84	—
27年6月期	22,170	—	5,983	—	26.7	—	447.87	—

(参考)自己資本 28年6月期第1四半期 5,486百万円 27年6月期 5,908百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	12,716	1.2	562	288.8	448	878.9	264	907.0	20.05
通期	28,149	2.4	1,360	25.7	1,163	37.5	703	127.2	53.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年6月期1Q	13,193,400 株	27年6月期	13,193,400 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年6月期1Q	76 株	27年6月期	76 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期1Q	13,193,324 株	27年6月期1Q	13,134,358 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済の景気減速により、株価や為替の急激な調整局面がありましたが、米国経済が不安定ながらも好調に推移し、北米依存度の高い大企業を中心に業績や雇用の改善がみられました。

当社グループが属する不動産業界におきまして、新築マンション市場は、平成27年9月の首都圏のマンション契約率が66.0%（出所：株式会社不動産経済研究所の「首都圏のマンション市場動向」）と、好不調の目安となる70.0%を下回りましたが、戸当たり平均販売価格は前年同月比13.2%増となりました。REITやインバウンドニーズにより、郊外に比べ都心部が好調に推移しました。

新築戸建市場は、昨年の消費増税直後に比べ、改善が見られ、底堅く推移しましたが、引続き需給バランスに注視して仕入れていく必要があります。

このような状況下、当社グループは、マンション事業において、利便性の高い駅近物件を慎重に仕入れ、実需に応じたコンパクトマンション等、多様化するお客様のニーズに対応したデザイン性の高い高品質な家づくりに取り組んだ結果、当第1四半期連結累計期間に完成引渡しはなかったものの、販売（契約進捗）は順調に推移しました。

また、戸建事業におきましては、価格重視の仕入れから立地条件を重視した仕入れへと転換しており、これまでの建売住宅に加え、多棟現場においてモデル棟を先行して建設し、定額制規格住宅「HOUSTYLE（ハウスタイル）」の販売を推進する等、よりニーズの高い上質な住宅の受注に力を入れました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高2,414百万円（前年同期比58.4%減）、営業損失268百万円（前年同期は143百万円の損失）、経常損失332百万円（前年同期は221百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失222百万円（前年同期は152百万円の損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は以下のとおりであります。なお、売上高の金額につきましては、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ラ・青葉台 ーコルティエーレー」等、合計4戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高148百万円（前年同期比94.7%減）、営業損失50百万円（前年同期は74百万円の利益）となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「三鷹市上連雀プロジェクト」、「和光市新倉7期プロジェクト」、「横浜市中区滝之上プロジェクト」、「横浜市旭区白根プロジェクト」、「川崎市麻生区岡上プロジェクト」等、合計43戸、請負工事13戸、計56戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高2,002百万円（前年同期比27.6%減）、営業損失44百万円（前年同期は56百万円の損失）となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、自社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部13物件40戸、東京都下2物件2戸、神奈川県6物件36戸、千葉県1物件2戸、合計22物件80戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高157百万円（前年同期比26.5%減）、営業損失39百万円（前年同期は46百万円の損失）となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、平成27年9月30日現在のマンション管理戸数が前期と同じ2,942戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高92百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益11百万円（同13.3%減）となりました。

[その他]

その他としましては、収益用不動産から賃料収入を確保しております。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高23百万円（前年同期比36.6%減）、営業利益6百万円（同69.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,088百万円減少し、21,082百万円となりました。負債については前連結会計年度末から665百万円減少し、15,521百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から422百万円減少し、5,561百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、現金及び預金が1,280百万円減少、仕掛販売用不動産が371百万円減少、及び販売用不動産が153百万円減少したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、有利子負債が135百万円減少、買掛金が49百万円減少、及び未払法人税等が396百万円減少したことによるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、利益剰余金が420百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月期の連結業績予想につきましては、第2四半期及び通期ともに、平成27年8月5日に公表した数値に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下、「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,458,615	3,178,084
売掛金	57,405	51,867
完成工事未収入金	129,522	249,189
販売用不動産	1,952,874	1,799,052
仕掛販売用不動産	13,753,951	13,382,481
前払費用	522,307	669,064
繰延税金資産	87,385	216,706
その他	86,471	468,939
流動資産合計	21,048,534	20,015,386
固定資産		
有形固定資産	589,748	578,698
無形固定資産	28,360	26,130
投資その他の資産		
投資有価証券	172,751	157,011
破産更生債権等	132,689	132,669
その他	334,498	307,803
貸倒引当金	△136,139	△135,256
投資その他の資産合計	503,799	462,227
固定資産合計	1,121,909	1,067,056
資産合計	22,170,444	21,082,442
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,446,068	1,396,705
短期借入金	2,253,868	2,742,419
1年内返済予定の長期借入金	5,685,810	5,686,592
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
未払金	295,556	204,782
未払法人税等	420,618	24,380
未払消費税等	215,903	23,299
前受金	598,861	876,169
賞与引当金	14,497	57,443
その他	192,649	80,798
流動負債合計	11,203,833	11,172,591
固定負債		
社債	270,000	230,000
長期借入金	4,691,325	4,106,337
繰延税金負債	7,584	7,747
その他	13,958	4,667
固定負債合計	4,982,867	4,348,752
負債合計	16,186,701	15,521,344

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,287	389,287
資本剰余金	1,335,517	1,335,517
利益剰余金	4,168,420	3,747,745
自己株式	△33	△33
株主資本合計	5,893,191	5,472,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,661	6,435
為替換算調整勘定	2,101	7,357
その他の包括利益累計額合計	15,762	13,793
新株予約権	74,788	74,788
純資産合計	5,983,742	5,561,098
負債純資産合計	22,170,444	21,082,442

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,810,077	2,414,170
売上原価	4,852,677	2,041,405
売上総利益	957,399	372,765
販売費及び一般管理費	1,101,133	641,474
営業損失(△)	△143,733	△268,708
営業外収益		
受取利息	1,068	975
受取手数料	16,858	4,546
解約精算金	300	13,682
その他	7,708	9,292
営業外収益合計	25,934	28,496
営業外費用		
支払利息	85,834	62,948
持分法による投資損失	990	635
支払手数料	16,339	6,041
為替差損	—	14,662
その他	152	7,792
営業外費用合計	103,317	92,081
経常損失(△)	△221,116	△332,293
特別利益		
関係会社株式売却益	—	532
固定資産売却益	—	212
特別利益合計	—	745
特別損失		
固定資産除売却損	492	4
特別損失合計	492	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△221,608	△331,552
法人税、住民税及び事業税	34,359	19,905
法人税等調整額	△103,302	△128,682
法人税等合計	△68,943	△108,777
四半期純損失(△)	△152,664	△222,775
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△152,664	△222,775

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△152,664	△222,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,461	△7,225
為替換算調整勘定	△443	5,256
持分法適用会社に対する持分相当額	737	—
その他の包括利益合計	5,755	△1,969
四半期包括利益	△146,909	△224,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△146,909	△224,744

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マンシ ョン事 業	戸建事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,816,485	2,767,634	102,883	85,634	5,772,638	37,439	5,810,077	—	5,810,077
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	111,283	400	111,683	—	111,683	△111,683	—
計	2,816,485	2,767,634	214,166	86,035	5,884,322	37,439	5,921,761	△111,683	5,810,077
セグメント利益又は損失(△)	74,682	△56,602	△46,799	13,675	△15,044	22,316	7,272	△151,006	△143,733

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△151,006千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マンシ ョン事 業	戸建事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	148,213	2,002,926	147,683	91,623	2,390,447	23,723	2,414,170	—	2,414,170
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	9,657	400	10,058	—	10,058	△10,058	—
計	148,213	2,002,926	157,340	92,024	2,400,505	23,723	2,424,228	△10,058	2,414,170
セグメント利益又は損失(△)	△50,451	△44,654	△39,215	11,853	△122,467	6,857	△115,610	△153,098	△268,708

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△153,098千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。